



百名っ子 No.6



令和7年6月25日(水)

南城市立百名小学校

文責 校長 竹下晴康

一人一人を大切にする温かい学校目指して

校長講話(6月18日)「命どう宝」

6月18日(水)に校長講話を行いました。話の要点は下記のとおりです。

6月23日は慰霊の日といって学校はお休みになります。その日は沖縄戦を通して平和について、命について考える一日となっています。今から80年前、皆さんが住んでいる沖縄で戦争があってたくさんの人々が亡くなり、そして(組織的な)戦争が終わった日が6月23日と言われています。80年前に沖縄戦を体験した人に話を聞くと、「戦争は、2度とやってはいけませんよ」と言います。なぜそんなことを言うのでしょうか。それは、戦争ほど、恐ろしくて、こわくて、悲しくて、つらいことはないからです。沖縄には「命どう宝」という言葉がありあます。命こそ大事な宝物という意味です。こんな素敵なことばがあるのが沖縄という島なのです。でも、戦争になってしまったら、宝物である命があつという間に消えてしまいます。皆さんにとっての大事な家族の命が奪われたらどうでしょう。考えただけでも恐ろしいことです。皆さんにとっての日常、それは当たり前であって当たり前ではありません。平和で幸せな世の中だからできるのです。戦争になったらすべて失ってしまいます。ですから、当たり前だと思っている幸せを大事にしてほしいと思います。命があることのありがたさを感じてほしいと思います。幸せをかみしめることができるのも、80年前の沖縄戦で、つらく苦しい思いをしながらも生き抜いてきた先人のおかげです。みなさんのおじいさんおばあさん、お父さんお母さん、そして皆さんへと命のバトンが引き継がれていって皆さんは生きているということを知ってほしいと思います。今日は少し難しいお話でしたが、少しでも皆さんの心に残ってくれたら嬉しいです。

6月23日

慰霊の日

おきなわけん やす
沖縄県だけお休み



6月23日

慰霊の日

平和とは何か
命とは何か



戦争は二度とやってはいけません



戦争ほど、恐ろしくて、こわくて、
悲しくて、つらいことはありません。

命どう宝(ぬちどうたから)



みなさんにとって、当たり前のことも...



小さな平和をつくりましょう

- ・安心して生活できる学校
- ・安全な学校
- ・ありがたうのことばがたくさん
さんの「あたたかい学校」

「トライアングルさん」による読み聞かせ

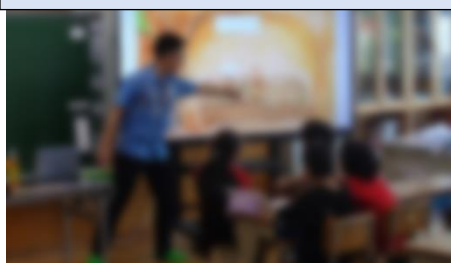
「おじいさんの海」「へいわってどんなこと」

三線、笛などの効果音も工夫されていて一人一人の心に響くお話でした。(1年~3年)



「さびらさん」によるワークショップ

「伊江島の壕」「對馬丸」等の様子が描かれている絵を読み取り、当時の様子や気持ちを体験しました。(4年以上)



「大城邦夫さん」による講話

「戦争前・戦時中・戦後」の豊富な写真資料を使って、「どう考えたか」を問うことにより自分事として考えさせる講話でした。

